

巻頭言

2013年度人工知能学会全国大会へのお誘い



大和田 勇人  
(東京理科大学)

昨年から全国大会にテーマが設けられている。前回大会は山口市で開催され、テーマは「文化、科学技術と未来」であった。瑠璃光寺が交流会の場所になるなど、山口の歴史や文化を体験することができたと思う。

本年度は6月4日(火)から6月7日(金)の4日間にわたって富山市で開催することにした。天然の生簀と称される多種多様な魚が生息する富山湾、万年雪をいただく立山連峰とその雪解け水からなる豊かな清流、おわら風の盆や世界遺産の五箇山合掌造り集落などの独特な文化、そしてライトレールに代表される人と環境にやさしい街づくり。このような自然豊かな富山に多くの人が集い、人工知能に関する最新成果を議論することで、これらが調和した社会を目指したいという想いを込めて、本大会のテーマを「人と自然と技術の調和」とした。とれたての「キトキト」な魚介に舌鼓を打ち、雄大な自然に敬服し、いろいろな出会いを楽しんでいただきたいと思う。

プログラムは、一般発表セッション、オーガナイズドセッション、近未来チャレンジセッション、インタラクティブセッション、学生企画セッション、さらに昨年からはじめた国際オーガナイズドセッションと、企画は広範囲である。さらに、今年度は新たな試みとして、インタラクティブセッションにて優秀な発表を行った学生に対して、学生奨励賞を授与する予定となっている。こうした企画のせいも、発表申込は650件となった。昨年は申込件数が500件で、そのときは過去最高ということで非常に驚いたが、今年ほどのセッションも昨年を上回る申込件数になった。

会場はメインとなる富山国際会議場に加えて、富山市民プラザ、富山市商工会議所であり、それらは徒歩5分程度で移動できる距離にある。また、交流会の会場となるグランドプラザもそこから徒歩10分であり、そういう点で見ると会場そのものはコンパクトにまとまっている。一方で、非常に多くの発表を収容するために、並行セッションの数を増やさざるを得ず、また夜のセッションも設けることになり、セッション割の仕事は大変であった。そうした中でも、プログラム委員長としては全国大会が活況を呈することは非常に喜ばしいことであり、参加者の期待も大きいと考えられる。いろいろと工夫を凝らし、顧客満足度を何とか向上させるよう努力したいと思う。

招待講演は、NASAのClancey博士をお呼びし、ローバーによる火星探査について講演してもらう予定となっている。実際にプロジェクトに関わった人から直接お話を伺えるまたとない機会であり、大会のテーマと合致するものと思われる。また、学会長による基調講演や2件の特別講演、さらには地元棋士とコンピュータとの囲碁対戦など、非常に興味深い話題が盛りだくさんである。人工知能学会をより一層盛り上げていくために、皆様奮って、ご参加いただければと思う。

二〇一三年度 第27回  
人工知能学会全国大会



JSAI  
2013

The 27th Annual Conference of  
The Japanese Society for  
Artificial Intelligence



人と自然と技術の調和  
Harmony of  
Human,  
Nature and  
Technology

2013年6月4日(火) → 6月7日(金)  
富山国際会議場 大手町フォーラム ほか  
Toyama International Conference Center  
June 4th TUESDAY → June 7th FRIDAY  
主催：一般社団法人人工知能学会 後援：富山県、富山市  
Sponsor: Japanese Society for Artificial Intelligence Support: Toyama Prefecture, Toyama City